

オスプレイは来るな！ 日米合同軍事演習反対!9. 29あいば野集会

9月29日、私たちJR東海労関西地本は、JR総連の仲間と友に、フォーラム平和関西ブロック主催の「あいば野集会」に参加してきました。10月上旬より下旬まで、あいば野自衛隊演習場及び陸上自衛隊今津駐屯地で13回目の日米合同軍事演習が強行されようとしています。この軍事演習は、悪名高い米軍の欠陥機・オスプレイを使用した日本初の日米合同軍事演習になるといわれています。上空で停止しているオスプレイから隊員がロープで降下し陸上に展開する「ヘリボーン」や「陣地攻撃」という呼称の訓練が実施するといわれています。この演習に対し、市民は「強い怒りを覚える」と多くの不安と反対の意思を表明しています。



(集会風景)

すでに日米政府は広範な人々のオスプレイ配備反対の声を無視し、沖縄米軍基地への強行配備と増強、低空飛行訓練を強行しています。今回の合同軍事演習中はオスプレイの拠点を米軍岩国基地に移して、「沖縄の負担軽減」を口実に、オスプレイ使用の全国化・既成事実化を図ろうとしているのです。また報道によれば、日米両政府は戦時想定訓練と前後して、南海トラフ巨大地震を想定しオスプレイを活用した自衛隊と米軍の合同防災訓練の1

0月開催も計画しているといわれています。

昨年末発足した安倍政権は集団的自衛権の見直し、「戦争の出来る国」、憲法改悪へと一挙に突き進もうとしています。集会では、主催者挨拶、連帯挨拶、決意表明の後にデモ行進を行いました。私たちは、あいば野演習場での自衛隊と米軍との合同演習中止を求め、多くの参加者と最後まで集会に参加してきました。

私たちはこれからも、平和を求め闘いつづけます。



(デモ行進)